

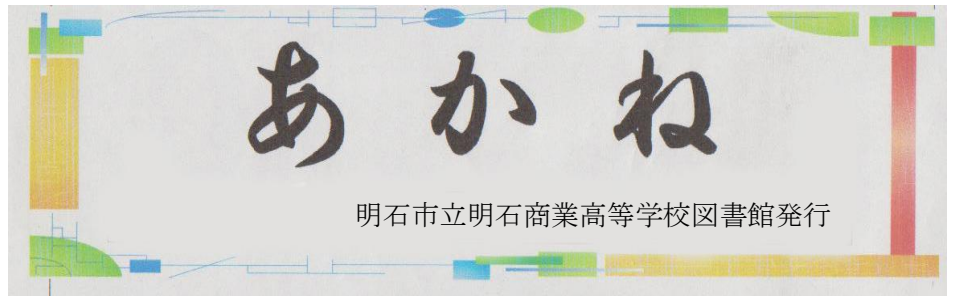
学校への通勤に自家用車を使用している私は、片道約四〇分、ラジオを好んで聴い

校長 橋本 浩一

本との付き合い



読書のすすめ



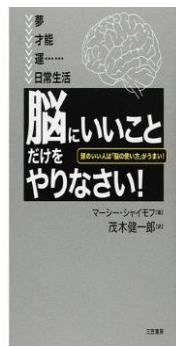
ています。ラジオからは、過去に出版されたものから新刊まで、お勧め、内容等様々な本の情報を得ることが出来ます。そんな情報から気になったものは、信号待ちの時間を利用してメモするようになっています。そのような情報は新聞からも手に入れることが出来ます。そうやってメモに残した本は行きつけの本屋で探して即購入。本屋になければアマ○でポチッ。私は古本が気にならないタイプなので過去に出版されているものなら、ネット上の「中古本」で安いのを探すこともしばしば。で、ポチッ。俗に言う「大人買い」です。本に関して私は、「買わずにいられない」性格で、その日は我慢しても数日後には買っていることが多いです。買った本は全部読んでいるか？といわれると、ネット注文した本が茶色の封筒に入れられて配達されたまま、封筒を開けもしていないものもある始末。でも「買わずにいられない」です。そうそう、小説が原作になっているテレビドラマを見て、先が知りたくなったら毎週見続けるのが面倒なので、さっさと小説を買って読んでしまします。近いところでは、昨年毎週日曜日二一時〜三時で放送されていた「危険なビーナス」パッと読んで吉高由里子の正体がわかったのでドラマを見るのはやめました。結構、このパター

ンでドラマを最後まで見ないことが多いです。「買ったからには絶対読み切らなければ」というと、しんどいので、こんな感じでした。皆さんの本たちと付き合い合っています。学校でいじめを受け、登校できなくなった主人公は、自室に閉じこもりがちになる。ある日突然、自室の鏡が光を放ち、鏡の中の城に招待される。その城には、自分とは境遇が違えども同じく学校へ通わなくなつた六人も招待されていた。現実の世界がそうであったように、鏡の城での人間関係もぎくしゃくしたものだった。しかし、大人に強制されずに、それぞれが自分で考え行動した分だけ、戸惑いも多かったが、交流を深めながら成長し、現実の世界では未だ存在していない一生の友人を得ることになる。そして、それぞれが現実の世界へ・・・。「閉城」「エピソード」では、かがみの孤城のすべての仕



「かがみの孤城」  
辻村 深月 著  
教頭 田中 盛雄

掛けが明らかに、人のつながりに、人を想う気持ちに涙が流れるほどの感動があふれました。少し昔になりますが、二〇一八年本屋大賞に選ばれたこの作品は、一人ひとりの描写や心の動きがとても鋭く繊細に書かれていきます。部屋に引きこもりがちな中学生が鏡の中に逃げ込み、世間から離れたところで傷を癒やすという意味合いだけではないのが、この小説の魅力です。多感な中学生・高校生に、教師に、そして生きづらさを感じているすべての人に読んでもらいたいです。作品です。



「脳にいいことだけをやりなさい!」  
マーシー・シャイモフ著  
事務局長 前園 直孝

あなたには「もっと楽しい人生を歩むために必要なものは何ですか」と聞かれたら何と答えますか? 「もっとイケメンだったらモテるのに・・・」 「進学さえ決まれば大丈夫!」 それでは、ルックスが良く進路も決まれば、一生幸せでしょうか?

幸せには、何か特別なものが、必要なように思いがちですが、実は「自分の脳が幸せと感ずることができるとかどうか」です。この本はそんな脳の話。簡単に教えてくれます。「眠っている才能を目覚めさせる脳の刺激法」 「脳は年中無休の薬局」 ワクチンの効果が大幅アップする人の考え方」等、脳の活用法を図や絵を交えながら教えてくれます。私は以前、明石市役所で「明石駅前にある図書館」をつくる仕事をしていました。とはいっても、実は本を読むのが大の苦手で、最初は「何で俺が図書館担当やねん」という思いでした。しかし、様々な司書仲間と情報共有する中で「さすがにちよつとは本を読まなあかんなあ」と思い、読んだ本のうちの一冊です。この本はページ数も多すぎず、本が苦手な私でも読むことができました。本の仕事をして思いますが、本を読むことで、研究者が何年もかかって発見したノウハウを簡単に学ぶことができるし、過去や未来、世界中を旅することもできます。本に書いてあること全てが役に立つというわけではありませんが、本がこれから社会に出ていく皆さんのお役に少しでも立てれば幸いです。

「百年法」

山田 宗樹 著

二年三組担任

浅田 瑛梨奈

みなさんにおすすめた本を、ということでは原稿を書いています。実は私は根っから読書が苦手、あまり今まで本を読むというところをしてきませんでした。ですが一つ、思い浮かぶ本がありました。『百年法』という本です。

きつかけは、高校二年生の時の現代文の先生でした。あの日、最近読んだ本が面白いからみんなもぜひ読んでくれ、とクラスのみんなに貸してくれたのがこの本です。上下巻で合わせて360ページと大ボリュームでしたが、その先生の授業が好きだったこともあり、私も貸してもらいました。

図書報



「あなたの人生が変わる奇跡の授業」

比田井和孝 比田井美恵 著  
一年五組 担任

岩崎 恵女

この世界では、手術を受ければその時点から歳をとらなくなるという技術が発達しています。誰もが夢見るような世界ですが、一生全員が老衰で死ぬことはなく生き続ける、様々な問題が起き

ます。よって、先に書いた「生存制限法」が必要になるのです。この法律や不老処置を巡って本当に色々なことが起こります。国民と政治家と巡る大きな対立をリアルに感じることが出来るのもこの本の魅力の一つです。

社会人になった時に、あなたが周りの人から信頼され、必要とされ、そして、「あの人と一緒に働きたい」と思っている人になるために……この本は、これから就職する

学生に対して行われていた、「就職対策授業」という講義の内容が出版されたもので

「やり方」の前に「あり方」が大事  
・本当の幸せをつかむ、「心のあり方」  
・「三つの約束」で人間力が劇的に高まる  
・四つの「じんざい」「人罪」「人在」「人材」「人財」等々。長い間、多くの学生の就職活動を支援してきた比田井先生が、分かりやすい言葉で、具体的な内容を次々と紹介してくれます。

私は比田井先生と何度かお会いしたことがあります。この人のパワーは計り知れません。この本を色々な人に紹介しましたが、生徒たちは勿論のこと、保護者の方々からも「この本に出会えて良かった」と大好評です。本校の図書室にあります。続編の「一瞬であなただけが輝く、奇跡の授業」と共に、ぜひ手に取ってみてください。

「キノの旅」

時雨沢 恵一 著

梅野 雅美

皆さんには、ずっと読み続けている作品はあるでしょうか。私には、中学・高校生の頃から読み続けている作品があります。その一つが今回紹介させていただいた時雨

える作品に出会える一助になれば幸いです。



「好奇心を、天職」に変える  
空想教室」

教務部

植松 努 著

織田 和良

著者は、原作池井戸潤さんでドラマ化された「下町ロケット」のモデルとなったとも言われる北海道に実在する企業の技術者です。父親の経営する従業員二〇名ほどの小さな町工場でありながらロケット事業に取り組んでいます。植松さんには、前年の周年行事で講演していただきました。その時の演題が今回紹介する本のキーワードでもある「思うは招く」です。

「思うは招く」というのは、「思ったら、そうなるよ」という意味で、夢があったらなんでもできると著者が子どもころからお母さんから教えてもらった言葉です。小さいころからロケットや飛行機が好きで、そういう仕事に就きたいという夢をもっていました。それを担任の先生に否定され、「どうせ無理」とい

う言葉浴びせ続けられましたが、母親の言葉を信じて勉強を続けることができたそうです。夢を持ち続けることも大切で、「どうせ無理」という人の可能性を奪ってしまおうと戦うことも必要でした。うまくいかなかったときは、「だったら次はこうしてみよう」と自分に語りかけることで一歩ずつ前へ進み、夢を叶えていきました。



**「火花」**  
 又吉 直樹 著  
 二学年 担任 片上 耕介

私がおすすする本は「火花」です。この作品は第153回芥川龍之介賞受賞していることで話題になっております。物語は若手お笑い芸人の徳永と四歳先輩の師匠神谷（かみや）との出会いから始まります。徳永は周囲に媚びず、常に笑いのことを考え、四六時中芸人で居続けるストイックな精神を持つ神谷を心から尊敬し、出会った

その日に自分を弟子にしてくれるよう懇願します。それから二人は、濃密な時間に酒を交わし、密やかな時間を過ごしながらか、芸人とはなにか、笑いはなにかについて議論していきます。神谷の笑いや笑いに向き合う姿勢に敬服する徳永は彼に少しでも近づきたい、彼に認められたいと強く願うようになり、神谷の破天荒さと天性のセンスは自分には到底真似できない。だからこそ彼からできるだけ多くのことを吸収しようとする。そんな二人の関係性が徐々に変わるのは徳永がTVなどに少しづつ出演するようになり、売れ始めてきてからのこと。他人の模倣をする人間を心底軽蔑していた神谷がある日徳永と同じ髪型、同じ服装をして現れると、徳永は目の前の師匠に自分の抱いていた幻想を打ち砕かれ爆発します。その日のことがきっかけで二人は距離を置くようになります。長い間連絡が途絶え、やがて徳永は神谷の相方から神谷が借金まみれになって逃亡したことを告げられます。そんな中、神谷の居場所が分からず心配していた徳永の前にある日神谷は突然姿を現します。なんとも形容しがたいある違和



感をかもしながら。率直な感想を述べると、かなり面白かったです。文章も読みやすいし、リアリティもあつた。ユーモアもあり、芸人にしか到底書けないストーリーと登場人物の心理描写が見事でした。素直に楽しめるエンターテインメント小説に仕上がっていました。

**「たくさんさんのドア」**  
 アリスン・マギー 著  
 進学指導部 片山 正子

絵本です。ユ・テウンの絵もかわいくて素敵です。疲れた時に読んで癒されています。

きょうも あしたも  
 あなたは たくさんの  
 ドアをあけていく

という文で始まります。私たちはたくさんさんのドアを開けて生きています。そのドアの向こうには、たくさんさんの新しいことや驚くこと、喜びが待っています。風の日や嵐の日もあるかもしれないし、自分はどこへ行くのか、どんな人になりたいのか、わからなくなることもあるかもしれません。でも、誰にも必ず自分ではまだ気づいていない強さがあると信じて、新しいドアを開けていってほしい、という私たちが優しく励ましてくれるような本です。高校生の皆さんの前には、

たくさんさんのドアがあります。その向こうにはたくさんさんの希望や喜びが広がっています。勇気を持って踏み出してほしいと思います。もちろん私の前にもまだまだドアはあります。皆さんのよりちょっと少ないかもしれないながらも、夢や希望を探しながら、私も新しいドアを開け続けたいと思いますし、また、皆さんが歩き出すのを静かに見守ることのできる人になりたいと思います。



**「出世花」**  
 高田 郁 著  
 二学年 担任 貞松 敏夫



作者の高田郁は兵庫県宝塚市出身の作家で、この「出世花」はデビュー作になります。続編で「蓮花の契り 出世花」が刊行されています。

皆さんは「湯灌」(ゆかん)を知っていますか。葬儀にありたり遺体を入浴させ、洗浄することです。映画「おくりびと」で本木雅弘が納棺士(のうかんし)を演じ、日本中に感動を与えましたが、その納棺士が行う仕事「湯灌」です。

この作品は、時代小説で、江戸時代、武士の娘として生まれた縁が、運命に翻弄され、青泉寺というお寺の僧侶たちで育てられ、自ら湯灌の手伝いをするようになり、人々から愛される存在になるというお話です。湯灌という仕事は周囲からはなかなか理解されず、冷ややかな目で見られることもありましたが、縁の心を込めた湯灌は、次第に人々の心を開き、「縁の手」にかかる、病みつかれた死人は元気な頃の姿を取り戻し、若い女の死人は化粧を施されて美しさで輝くようになる。皆安らかに浄土に旅立つて行くのだ」と噂されるようになり、

人の死を題材にした異色のお話ですが、主人公を中心に、周りの多くの人々の慈愛にあふれた感動の作品です。



「神様のカルテ」  
夏川 草介 著  
総務部 中野 優美

この本は、私の好きな芸能人が「神さまのカルテ」という映画に出演するというところで、存在を知り手に取った一冊です。

令和3年2月26日  
「24時間365日対応」の本庄病院に勤務する主人公の栗原一止は内科医五年目の医師。慢性的な医師不足とペッド不足で苛酷な状況ですが、自宅である「地獄荘」で彼の帰りを待つ妻に支えられ、何とか不眠不休の日々を過ごす。

報 館 書 図  
そんな時、大病院への移動の話が持ち上がる。最先端医療に心惹かれながらも、末期癌患者を切り捨てた大病院の実態に反発を覚える彼。進退を悩む栗原に、友人である同僚医師の悩みや患者の死、御嶽荘の仲間の自殺未遂が襲いかかる。そんな中、栗原が出した答えは。

第115号  
この本は、他の医療小説とは違い、『働き方改革とは?』と思わされるほど苛酷な医療現場の様子が書かれています。少しネタバレになるかもしれませんが、助かる患者さんがいないというストーリー展開も他の医療小説と違い、医療現場のリアルを表現しているところだと思えます。しかし、ただの医療小説で

はなく、人の優しさに触れることができ、「命とは」「悩み」とは「など考えさせられる物語だと思えます。

このコロナ禍の中、医療崩壊のニュースをよく目にするのではないのでしょうか。医師視点からの病院の状況を再確認できる一冊だと思えます。また、2021年に映画化されており、今年の二月一五日からスペシャルドラマとして放送されましたので、原作と比べてみるのも、おもしろいかもかもしれません。



「ココ・シャネルの言葉」  
一年一組 担任 山口 路子 著  
福岡 由菜

私がこの本を初めて読んだのは、大学生の時でした。大学に入るまで本を全く読まずに過ごしてきた私に、考え方を広げるきっかけを与えてくれたのがこの本でした。この本を読み終えた後、「もつと本を読みたい!」と強く思いました。ですの、この館報あかねを通し、一人でも多くの人が本に興味を持てるよう、紹介していきます

す。  
この本は、あの有名ブランド【CHANEL】の創業者であるココ・シャネルが残した数々の言葉と、そこに秘められた彼女の想いが書かれています。この本の特徴は、見開き一ページずつ読み進められるので、読書が苦手な人でも手に取りやすいという点です。今回は、数ある彼女の言葉の中から、私が一番影響を受けた言葉を紹介します。

『退屈よりも大失敗を選びなさい。』この言葉は、彼女の人生そのものを表しています。ここで皆さんに質問です。何か始めようと思った時、「もう遅い」「もつと早くやっておけば」と思ったことはありませんか。ほとんどの人が一度はあるはずですが。しかし彼女は違います。(詳しくは本で)

私はこの言葉と出会ってから、自分のやりたいことのために挑戦するようになっていきます。そうし始めてから、どんどん自分のやりたいことが実現しています。嘘ではありません、本当です。(笑)歳を重ねていけば、価値観も考え方も変わっていく中で、歳を理由に諦めたくない、という私の中にあつた想いを後押ししてくれたのがこの一言です。

まだまだ紹介したいことがあります。五〇〇字で伝えるのは想像以上に難しい

です。ぜひ、皆さんこの本に一度触れてみて下さい。



図書館より

六十六回生の皆さん、卒業おめでとうございます。進学する人も社会人になる人も本を読むことは、気分転換にもなり、新たな発見があり、新生活の何かの助けになると思います。

卒業すると分からないことを人に聞くことが難しくなります。野球部のマネージャーをしていて卒業生が、ACCESSでデータを活用しています。使い方がわからないと、本を渡しました。その本を見ながら操作することでできるようになり、喜んで帰りました。スキルアップをするのも本からという手もあります。



編集後記



「館報あかね」第一一五号をお届けします。「読書のすすめ」には、今年度、新しく着任されました先生方を中心に執筆をお願いにありがとうございましたところ、快くご承諾いただき誠にありがとうございます

いました。生徒の皆さんの新たな本と出会い、知らなかった世界を広げることのきっかけになれるように願っています。

今年コロナで始まり、現在も収束していません。本の消費は?と考えるかもしれませんが、大きな図書館のような設備もないし、そんなに頻りに借りてもらっていないのですが、これからの課題が増えたと思っています。

コロナ禍の中、第二回の緊急事態宣言が発出され、移動自粛も余儀なくされている今、目的は、自分の教養を高めるため、常識やマナーを身につけるため、暇つぶしのため等々、いろいろと考えられますが、本を手に取り読んでみてはいかがでしょうか。私も本の購入にあたり、今年話題になった鬼滅の刃のノベライズを図書館で購入して読んでみました。漫画の内容とは違う物語でしたが面白かったです。

また、今年も昨年に引き続き、日商簿記一級などの問題集も入っていますので、活用してください。数台の中古のノートパソコンも引き続き導入し、数も増えていますので、活用してください。またホームページに、図書の新着案内を掲載していますので、ホームページもチェックして、是非図書館を利用してください。

(図書館長)